

介護老人保健施設しおん 酒井 泰(介護福祉士/住吉・山下ユニットリーダー)

功 績 2019年度オールジャパンケアコンテストにて看取り部門奨励賞(準優勝)受賞し、健育会グループの知名度向上、並びにしおんでの看取りケアへの質向上に対する功績。

推 薦 者 桶谷 雅志(介護科長)

推 薦 理 由 しおんでの看取りは年々増加しています。酒井は利用者さんに最後まで良いケアをしたいとの思いから、その知識と技術を磨くための努力を惜しまず質の向上に努め、コンテストの奨励賞受賞という結果に繋がりました。また、健育会グループの「質の高い医療・介護」「人間の尊厳平等」に基づいた行動で、まさに今年のキャッチフレーズの「心・技・協」「風を起こしビジョンを達成します」であり、その努力と結果は理事長賞の推薦に値すると考え、今回推薦させていただきます。

内 容

現在、山下・住吉でユニットリーダーをしている介護福祉士の酒井泰は、介護経験は東京の特別養護老人ホームですが、約5年前に奥様都合で石巻へ、しおんの勤務となった。

当時よりやる気が満ち溢れており、常に前向きでリーダー業務も率先して取り組む職員でした。周囲とのコミュニケーションも上手く入職2年目の若手でしたがユニットリーダーに抜擢され現在に至ります。

本人より「今年は学びの年にしたい」との相談があり、外部研修など模索していたところ、オールジャパンケアコンテストの案内が目に入り、調べると「オールジャパンケアコンテストは、

全国各地から挑戦したいという介護職従事者が集い、日ごろの介護技能や心構えを披露していただき、介護とは何かを考え、参加した選手同士はもちろん、利用者さんやご家族、地域の皆様との密接な繋がりや絆の大切さを体感していただく場とするもの」とあり、また、コンテストは、介護従事者が選手として参加し、「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」「国際交流」の7分野において課題に応じた介護技能を披露し、その実技に対して専門のアドバイザーによって助言、審査をする大会です。

各分野で優秀者を選考しますが、競い合うことを目的とするものではなく、参加者の自己研鑽や地域の皆様の理解を深め、介護とは何か考え、介護を支える土壌を作ることを目的とするものです。

酒井はコンテスト参加をきっかけに自身やしおん全体の看取りを見直したいと結成したチームで看取りを学び直し、連日症例の検討やチーム内でのディスカッションを行い知識や技術の研鑽に努め、ケアの質向上を目指して取り組みを行いました。

令和1年10月19日、オリンピックセンターにて開催された第10回オールジャパンケアコンテスト看取りA部門(5年以上の経験者)に参加し、見事奨励賞(準優勝)を受賞しました。